

見て 聞いて 触れて 学んだことを よい行動に表していこう!

沖縄の歴史や文化を学び 集団生活のルールを守った3年生は 人間力もアップ!

3年生は、4月26日から28日まで、中学校生活のハイライトである修学旅行で沖縄県に行きました。飛行機での移動や民泊等初体験の生徒も多かったようです。特に心に深く残ったのは、南部戦跡を訪ねたことでしょう。先の大戦の深い反省から我が国は、71年間平和国家としての歩みを続けていますが、国内で唯一主戦場となった沖縄を訪ねると、今なお深い傷が残っていると感じました。昭和27年4月28日は、サンフランシスコ講和条約が発効し、戦後7年間連合国軍に統治されていた日本が国家として世界復帰を果たした記念日なのですが、沖縄の人々には、本土と引き離されて、引き続きアメリカの統治下におかれることが決まった悲しい日でもありました。(その20年後、昭和47年5月15日に、沖縄はやっと本土復帰を果たしました。)

また、世界に目を向けると、日本の歩みと私たち日本人の戦後の努力を必ずしも友好的に見ている国ばかりではないという現実もあります。そうした現実と過去の歴史を踏まえて、私たちは日本の安全保障も守りながら、平和国家としての責任を果たしつつ、自立してしっかりと歩んでいかなければならないと感じました。

初日の民泊は、南城市の皆さんとの出会いでした。生徒たちは4～6人組で26家族の皆さんにお世話になりました。広島空港から飛行機の出発が遅れ、体験時間が短くなりましたが、海での体験活動や琉球衣装の着付け、工芸や料理の体験等沖縄ならではの貴重な体験をさせていただきました。

2日目は、南部戦跡を訪ねて平和学習。「平和の礎(いしじ)」の前で平和集会を行いました。ガマの中でボランティアガイドの皆さんから説明していただいたことは、心の奥底まで響くものでした。「命は宝(ぬちどう、たから)」。沖縄サミット以後に生まれた生徒たちですが、犠牲となった皆さんの遺志にこたえるためにも、自分の命を大切に、しっかりと生きていかなければならないと決意を新たにしてくれたことと思います。そして、美ら海水族館のスケールの大きさに感激してホテルに入りました。

3日目は、那覇市の首里城を見学し、おきなわワールドでエイサーショーのパワーに圧倒され、国際通りで班別行動をしました。琉球の歴史や沖縄の文化を体中で感じた3日間でした。搭乗直前に飛行機のエンジントラブルで、出発が大幅に遅れ、果たして3日間無事に研修できるだろうか大変心配しましたが、生徒たちの頑張り、予定していたプログラムをカットすることなく研修ができました。多くの人々と素晴らしい出会いと3日間の旅行を支えてくださった皆様、旅行の準備から迎えまで、生徒達を支えてくださったご家族の皆様、心から感謝申し上げます。いろいろと準備をして、集会や活動の中で、司会や挨拶を担当してくれた実行委員の皆さんご苦労様でした。



ガマ体験(マヤーガマ)



ホテルで楽しい食事

鴨方中学校 「平和宣言」

戦争のない今の日本に生まれた私たちは、普段何気なくしている、食事をする、音楽を聴く、友達とおしゃべりをする…といったことが当たり前のようにできています。このように当たり前のことを当たり前でできる今の平和な時代を生活している私たちは、「平和」を意識したことがあるでしょうか。実際に戦争を経験したことのない多くの方は、「今日」が来ることを当たり前と感じていると思います。しかし、今も世界のどこかで戦争が絶えず続き、人々の笑顔が失われています。戦争は人と人の命の奪い合いです。戦争があることで多くの人々の命が奪われ、たくさんの方が悲しみます。

平和実現のために今私たちができること。それは、一人一人が今の平和に感謝し、身近な平和を守ることです。

最近いじめによる自殺や親が子供を殺すなどといった事件をニュースで見ることがあります。もしかしたら、身近なところに悲しい思いやつらい思いをしている人がいるかもしれません。皆さんは、周りの人を言葉や暴力、態度で傷つけていないでしょうか。

私たちは、笑顔のあふれる明日を築くために、一人一人が相手の心を思いやり、尊敬する。また、平和に対する意識を高くもつ。そんな一人一人の意識が、日本を、世界を平和に導くでしょう。

私たちは、今、戦争を経験した沖縄の人々の深い悲しみを忘れることなく、この修学旅行で学んだことを心に刻み、平和な未来を私たちの手で創っていくことをここに宣言します。

平成28年4月27日 鴨方中学校 生徒代表 若林未来



お世話になった家族の方と



平和祈念集会での平和宣言(若林さん)

★良い考えを良い言葉にして発表すると共に、それを態度で示しましょう。良い行動を積み重ねて、良い習慣を身につけましょう!